

アクション・プラン 2. (3) に記載する「一体的な実施」に係る提案 (愛知県大府市)

「大府市就労生活支援センター（仮称）」の設置について

1. 本市における既存事業

本市では、平成 21 年度で廃止された高年齢者職業相談室の後を受け、平成 22 年 4 月 19 日より大府市勤労文化会館内で、職業安定法（昭和 22 年 11 月 30 日法律第 141 号）第 33 条の 4 に基づく本市による無料職業紹介事業を月・水・金曜日に実施しております。

平成 22 年度の無料職業紹介事業の実績では、平成 23 年 2 月末現在で延べ 2,511 人と多くの利用者がありましたが、本市独自の無料職業紹介の求人情報は、東海 4 県をエリアに定めておりますが、実際は市内の求人情報だけに限られており、2 月末現在で就職実績は 30 人と、就職に結びつく件数が少ないのが実態となっています。

また、大府市勤労文化会館と大府市役所とは約 2 km 離れているため、徒歩での行き来は難しい状況となっています。

2. 提案の概要

開設場所を大府市勤労文化会館から、大府市役所近くの大府児童老人福祉センター内に移設し、生活保護などの生活支援を必要とする利用者を主な対象者として、市役所の生活支援に関するサービスの相談・情報提供にハローワークの職業紹介機能を付加し、「ワンストップ」にて複合的に生活支援サービスを提供することにより、住民の利便性の向上を図ります。

3. 提案理由

本市では、ハローワークまでの距離が遠いため、市内にハローワークの設置を望む声があります。

また、現在の大府市による無料職業紹介事業では求人件数が少ないため、本市内の求人情報だけではなく、他地域を含む多くの求人情報を必要としています。

さらに、市役所とハローワーク、本市による無料職業紹介事業の実施場所が離れているため、就職活動と本市による生活支援サービスを同時に相談することができません。

収入を安定させ自立した生活を送るために、最も必要なことが就職であるため、本市による生活支援サービスとハローワークの職業相談・紹介を同時に受けることができる場が有効と考えております。

本市の生活支援サービスを受給する方を就職活動に誘導したり、就職活動を行なっているが就職が決まらない方をハローワークが実施しているセーフティネット施策や本市の生活支援サービスに誘導したりと、相互に密接な関連をもつ必要があります。

そこで、市役所周辺にハローワークの機能を確保し、同時に、本市の生活支援サービスの相談、情報提供を行なうことにより、住民が安定した生活を送るための支援が行いやすい環境ができる効果が期待できます。

4. 業務内容

国の業務として求人情報の提供と専門の職業相談員による就職サポート、本市の業務として開設場所の提供と本市の臨時職員を配置して次のサービスを提供していく事を提案いたします。

(1) 本市の生活支援サービスの相談・情報提供

- ①就職支援セミナーの案内
- ②市営住宅の案内
- ③社会福祉協議会の案内
- ④児童扶養手当・生活保護・住宅手当の窓口案内
- ⑤税の滞納・多重債務の窓口案内
- ⑥DVや離婚による生活支援の窓口案内
- ⑥引きこもりなどの「知多地域若者サポートステーション」への案内

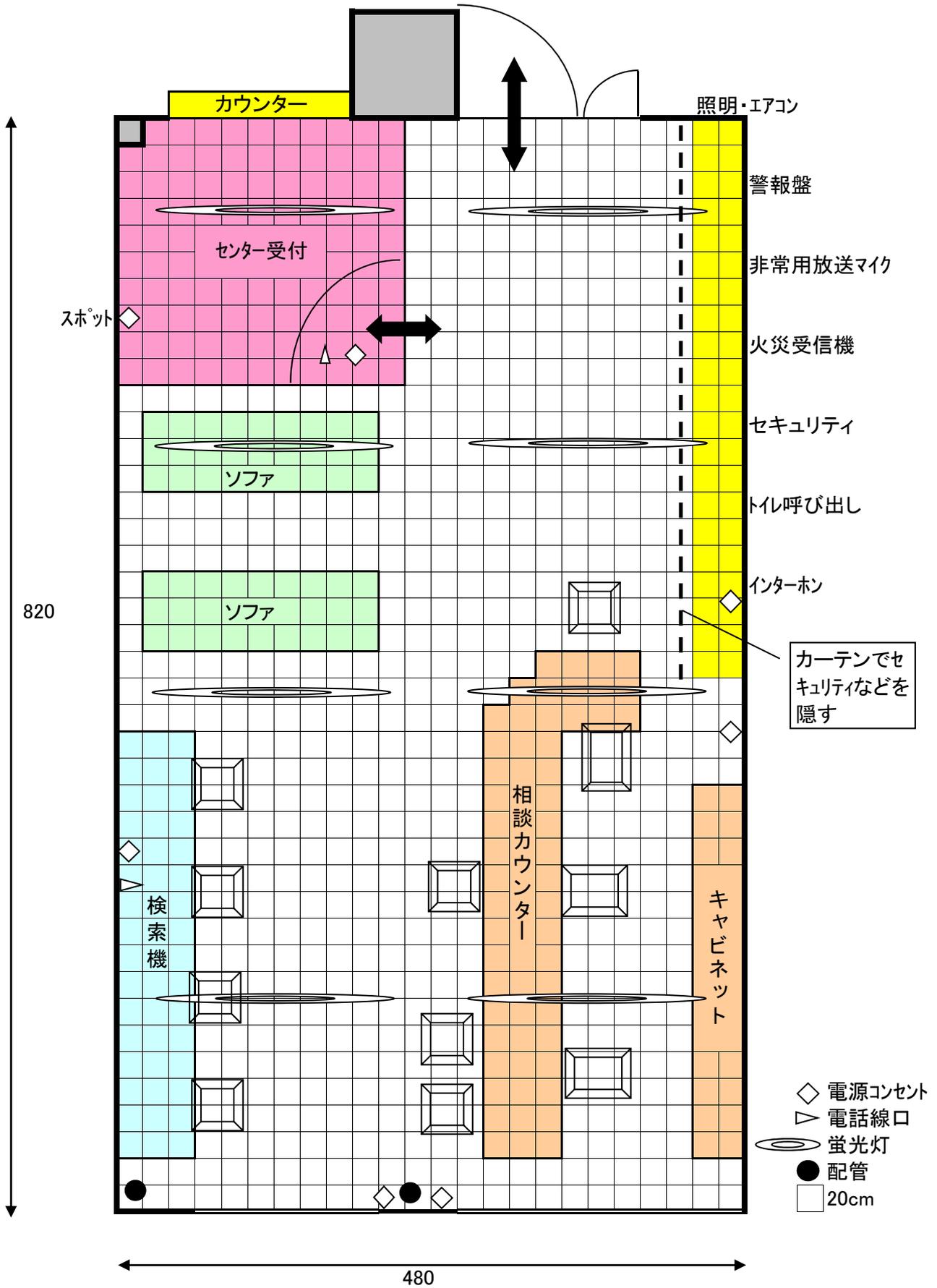
(2) 国による職業相談・職業紹介の補助業務（案内・記録等）

5. 具体的場所及び室内レイアウト案

※別紙1 大府児童老人センターと市役所の位置関係（約200m）

別紙2 「大府市就労生活支援センター（仮称）」レイアウト図

大府児童老人福祉センター1階事務室レイアウトイメージ(素案)





大府市役所
大府市役所
大府市役所

13.9

12.3

13.4

桃山町

大倉公園

大倉公園

中央図書館

大府児童老人福祉センター

13.5

大府市役所

11-2

向畑公園

11.6

11.9